

第31期 株主通信

2026年3月期 中間報告書

(2025年4月1日～2025年9月30日)



Assuring Growth and
Success with IT.

ITで、確かな成長と成功を。



AGS株式会社

証券コード：3648

社長メッセージ



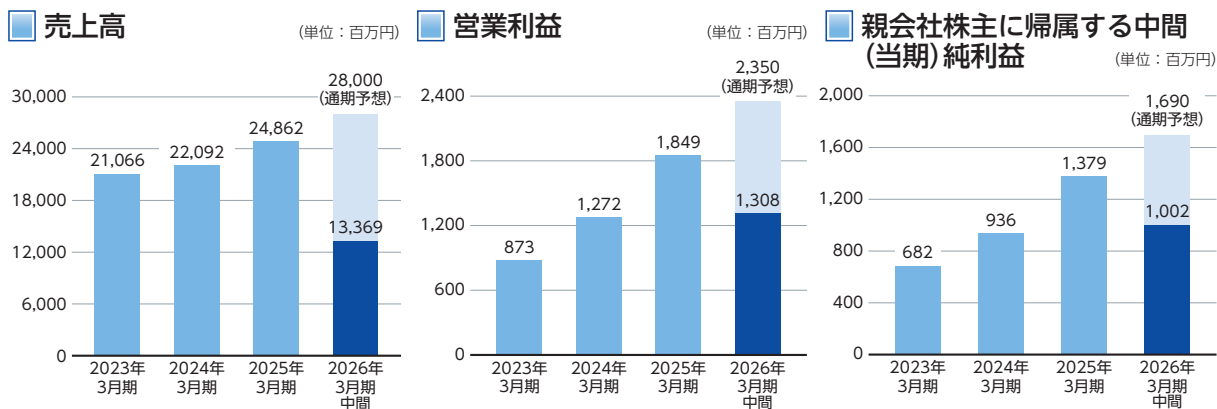
代表取締役社長 中野 真治

株主の皆様には日頃よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第31期中間株主通信をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当中間連結会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなど緩やかな回復基調となりました。景気の先行きについては、物価上昇の継続による消費者マインドの悪化や、米国の通商政策の影響などにより、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属します情報サービス産業におきましては、地方公共団体の基幹業務システム標準化推進や、老朽化が懸念される民間企業の基幹システム刷新、及び官民を問わず、生成AIの活用をはじめとしたデジタルトランスフォー



メーション（DX）推進の更なる加速が期待されております。また、組織を標的としたサイバー攻撃による被害が増加し、自社の防衛策のみならず関係する外部組織も含めたセキュリティ対策の重要性が高まっており、今後も中長期的に市場規模の拡大が継続するものとみられます。

このような経営環境の下、「クラウド時代においてもお客様から選ばれ続けるITパートナーとなる」ことを目指した当社グループの第二期中期経営計画の初年度となる当中間連結会計期間におきましては、同経営計画の重点施策の推進等に注力してまいりました。

売上面では、ソフトウェア開発をはじめとする全てのセグメントが堅調に推移したことから、当中間連結会計期間の売上高は13,369百万円（前年同期比22.3%増）となりました。

利益面では、売上高の増加及び生産性や利益率の向上などにより、営業利益は1,308百万円（前年同期比123.5%増）、経常利益は1,348百万円（同116.4%増）となりました。また、政策保有株式の公開買付応募に伴う投資有価証券売却益の計上などにより、親会社株主に帰属する中間純利益は1,002百万円（同145.3%増）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年11月

配当方針

当社グループは、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと位置づけ、経営基盤の強化、今後の事業の拡充、連結業績等を勘案しながら、安定した利益配分を行っていくことを基本方針としております。

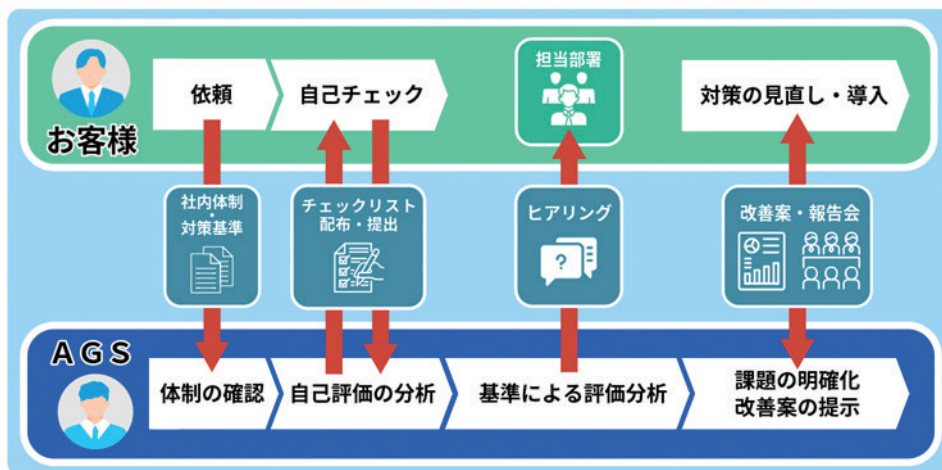
	第30期 2025年3月期	第31期 2026年3月期
中間期末	8.0円	16.0円 (実績)
期末	16.0円	16.0円 (予想)
年間	24.0円	32.0円 (予想)

「サプライチェーンセキュリティ対策評価支援サービス」提供開始

近年、サプライチェーンに起因するサイバー・インシデントが増加し、企業取引におけるサイバーセキュリティ対策の強化が求められています。

このことを背景に、経済産業省では、サプライチェーン全体のセキュリティ対策水準の向上を目的として、サプライチェーンにおける対策状況を可視化する「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」(以下、本制度)を構築し、2026年度中の制度開始を目指しています。一方で、各企業が、本制度の評価内容を十分に理解し、評価取得に向けた対策を講じていくうえでの専門的知識の不足やリソースの確保が課題となっています。

このため、当社は、本制度に基づくセキュリティ対策評価をご支援する「サプライチェーンセキュリティ対策評価支援サービス」の提供を2025年9月より開始いたしました。



■お客様に適した改善策のご提案

- 当社がこれまでに培ってきた高い専門性やノウハウをもとに、お客様のセキュリティ対策の現状を可視化・評価のうえ、評価取得に向けた課題を明確にするとともに、必要な改善策をご提案いたします。

■求められる対策のご支援

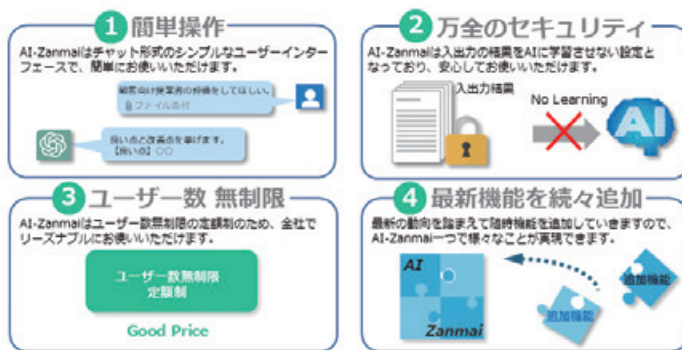
- 求められるセキュリティ対策として必要となる情報セキュリティ体制の構築や、システムの導入・運用、教育訓練の実施など、お客様の情報セキュリティ対策を幅広く継続的にご支援いたします。

生成AIサービス「AI-Zanmai」提供開始

多くの企業が抱える人手不足の問題を解決するために、生成AIの活用に対する期待が高まっています。

一方で、生成AIの導入には技術的なハードルもあり、導入に至っていない企業も少なくありません。このような現状を踏まえ、企業・団体向けの生成AIサービス「AI-Zanmai」の提供を2025年5月より開始いたしました。

「AI-Zanmai」はAIチャットやナレッジ検索（RAG）をはじめとする生成AIの各種機能を、複雑な設定無く、簡単操作で利用できるクラウドサービスです。幅広い企業での業務利用を想定し、機密性の高い情報でも安全に利用できるよう、入出力の結果をAIに学習させない設定となっているほか、NGワード登録、多要素認証等のセキュリティ強化機能も搭載しております。



「IT運用代行サービス」提供開始

社会全体でデジタルトランスフォーメーション（DX）が進む中、IT環境を維持・管理する人材の確保が課題となっています。

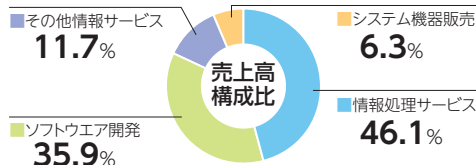
このような状況を踏まえ、サーバやネットワーク機器の管理代行やセキュリティ監視、ご相談受付などを行う「IT運用代行サービス」の提供を開始いたしました。

IT環境の維持・管理に課題や不安を抱えるお客様に対し、各サービスを組み合わせで最適なサービスをワンストップで提供いたします。

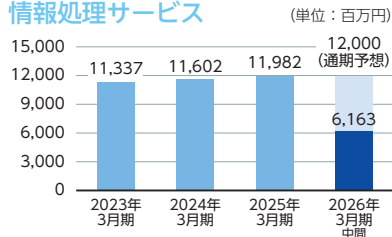


POINT

- 情報処理サービスにおける金融機関向け運用業務の受注拡大及び一般法人向けのデータセンター、クラウドサービス案件の受注増加
- ソフトウェア開発における一般法人向けDX案件の受注増加及び自治体向けの案件増加



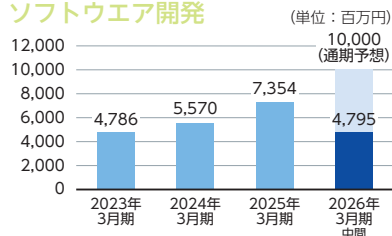
情報処理サービス



情報処理サービスでは、データセンターを基盤に、受託計算サービスとデータ入力・印刷・デリバリー等の周辺業務を併せたトータルなサポートとしてIDCサービス、クラウドサービス、BPOサービスを提供しております。

金融機関向け運用業務の受注拡大及び一般法人向けのデータセンターやクラウドサービス案件の受注増加などにより、売上高は6,163百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント利益は1,135百万円（同15.0%増）となりました。

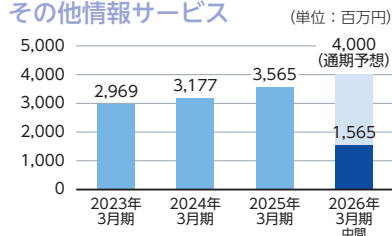
ソフトウェア開発



ソフトウェア開発では、長年にわたるソリューション提供の実績とエンジニア経験を活かし、金融機関・公共団体・一般法人など幅広い業界・業種のお客様に対して、情報戦略策定支援等のシステムコンサルティング、アプリケーション・ソフトの受託開発などを提供しております。

一般法人向けDX案件の受注増加及び自治体向けの案件増加などにより、売上高は4,795百万円（前年同期比63.3%増）、セグメント利益は992百万円（同162.7%増）となりました。

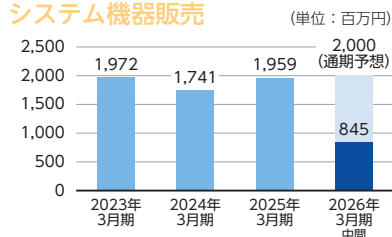
その他情報サービス



その他情報サービスでは、ネットワークの設計・構築、システムパッケージ商品の提供や導入支援サービス、情報セキュリティや事業継続マネジメントに関わるコンサルティングなどを提供しております。

ネットワーク環境構築案件の受注及び自治体向けパッケージソフト販売の増加などにより、売上高は1,565百万円（前年同期比8.4%増）、セグメント利益は265百万円（同31.2%増）となりました。

システム機器販売



システム機器販売では、マルチベンダーとして特定のコンピュータメーカーに依存せず、お取引先の多様なニーズにマッチした最適なコンピュータ機器の選定・販売や、関連する周辺機器・備品、コンピュータ帳票の販売を行っております。

一般法人及び金融機関向け機器販売の増加などにより、売上高は845百万円（前年同期比47.8%増）となりましたが、利益率が低位にとどまったため、セグメント利益は10百万円（同0.7%減）となりました。

連結財務諸表



連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当中間期末 (2025年9月30日)
【資産の部】		
流動資産	12,499	12,778
固定資産	9,076	8,981
有形固定資産	4,994	4,879
無形固定資産	1,274	1,235
投資その他の資産	2,807	2,866
1 資産合計	21,576	21,759
【負債の部】		
流動負債	5,341	4,957
固定負債	1,573	1,322
2 負債合計	6,915	6,279
【純資産の部】		
株主資本	13,806	14,556
資本金	1,431	1,431
資本剰余金	506	510
利益剰余金	12,332	12,977
自己株式	△463	△362
その他の包括利益累計額	855	923
3 純資産合計	14,661	15,480
負債純資産合計	21,576	21,759

1 資産合計

現金及び預金が前連結会計年度末比379百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比183百万円増加して21,759百万円となりました。

2 負債合計

買掛金が前連結会計年度末比309百万円、リース債務が261百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比635百万円減少して6,279百万円となりました。

3 純資産合計

剰余金の配当267百万円の方、親会社株主に帰属する中間純利益1,002百万円の計上などにより、前連結会計年度末比818百万円増加して15,480百万円となりました。

連結損益計算書(要旨)

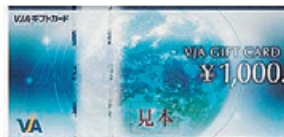
(単位：百万円)

科目	前中間期 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間期 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	10,931	13,369
売上原価	8,275	9,753
売上総利益	2,656	3,616
販売費及び一般管理費	2,070	2,308
営業利益	585	1,308
営業外収益	65	62
営業外費用	27	22
経常利益	622	1,348
特別利益	2	156
特別損失	4	27
税金等調整前中間純利益	620	1,476
法人税、住民税及び事業税	166	427
法人税等調整額	45	46
中間純利益	408	1,002
親会社株主に帰属する中間純利益	408	1,002
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—

株主優待制度



保有株式数	継続保有期間	優待内容
2単元株(200株)未満	—	対象外
2単元株(200株)以上	1年以上	VJAギフトカード 1,000円分 QUOカード 1,000円分
5単元株(500株)以上	1年以上	VJAギフトカード 2,000円分 QUOカード 2,000円分
	3年以上	VJAギフトカード 3,000円分 QUOカード 3,000円分
10単元株(1,000株)以上	1年以上	VJAギフトカード 3,000円分 QUOカード 3,000円分
	3年以上	VJAギフトカード 5,000円分 QUOカード 5,000円分



優待基準日:3月末日 贈呈時期:6月頃



優待基準日:9月末日 贈呈時期:12月頃

※保有1年以上とは、毎年3月、6月、9月及び12月の各末日の当社株主名簿に、同一株主番号で継続して5回以上記載されていることといたします。
 ※保有3年以上とは、毎年3月、6月、9月及び12月の各末日の当社株主名簿に、同一株主番号で継続して13回以上記載されていることといたします。

株主の皆さまの
声をお聞かせください



当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにて
ご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンから
カメラ機能で
QRコードを読み取り

QRコードは
株式会社デザインウェブ
の登録商標です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝を進呈させて
いただきます。

本アンケートは、
株式会社プロネクサスの提供する
「コエキク」サービスにより
実施いたします。
アンケートのお問い合わせ
「コエキク事務局」
✉ koekiku@pronexus.co.jp

AGSグループ植栽活動

2025年10月25日、埼玉県立狭山稲荷山公園にて
「AGSグループ植栽活動」を実施し、ビオラや
ノースポールなどの花苗を植栽しました。



前回のアンケートでは、多数のご回答ありがとうございました。皆様からの貴重なご意見につきましては、今後も本誌作成の改善に活用させていただき、内容の充実に努めてまいります。

会社概要 (2025年9月30日現在)

商 号	AGS株式会社 AGS Corporation
設 立	1971年7月
上 場 市 場	東京証券取引所スタンダード市場 証券コード：3648
資 本 金	1,431百万円
事 業 内 容	情報処理サービス ソフトウェア開発 その他情報サービス システム機器販売
従 業 員	連結 1,118名
本 社	〒330-0075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25 TEL：048-825-6000 FAX：048-822-7337
浦 和 ソリューション セ ン タ ー	〒336-0027 埼玉県さいたま市南区沼影1-13-1 ナリア・テラス3階 TEL：048-839-5611 FAX：048-877-3500
連 結 子 会 社	AGSビジネスコンピューター株式会社 AGSプロサービス株式会社

株主メモ

事 業 年 度	4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	6月
定時株主総会基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単 元 株 式 数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵 送 物 送 付 先 及 電 話 照 会 先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)
公 告 方 法	当社ホームページ (https://www.ags.co.jp/) に電子公告により掲載します。なお、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
お 取 扱 窓 口	お取引の証券会社等
未払配当金のお支払	三菱UFJ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

AGS株式会社

埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25
TEL：048-825-6000 FAX：048-822-7337
<https://www.ags.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

